



統合報告書

社会福祉法人
ライフの学校

2025



2025

統合報告書

ライフの学校は、福祉施設を地域にひらき、さまざまな人々が集う「学びあい」の拠点づくりに取り組む社会福祉法人です。

2008年に設立し、2020年には法人名を改称。

現在、17年目を迎えました。

本報告書では、当法人の一年間を振り返りながら、次年度以降に取り組む事業やケアの方針を共有し、対話を深めていくことを目的としています。

これからも、かかわってくださるみなさまとともに歩みを進めていきたいと考えています。

もくじ

- 02 ライフの学校とは
- 06 数字で見る2024年度
- 08 ニュース
- 12 基本情報
- 18 財務情報
- 21 中期経営方針
- 23 スタッフインタビュー
- 30 ご寄付のお願い
- 32 お知らせ

本報告書について
・対象期間：2024年度（2024年4月1日～25年3月31日）
・各事業所名は、適宜省略して記載しています。
・施設の利用者を「パートナー」と呼んでいます。

ライフの学校とは

ミッション

支えあって、学びあって、 すべての人の「人生」を豊かに

ケアのなかには、「いのち」や「暮らし」や「生きる」についてのたくさんの学びがあります。
日々、人生の先輩であるお年寄りや障害のある人との対話から「いのち」や「生きる」が学べます。
週末には子どもをはじめ地域の人たちが参加する「暮らし」を学ぶプログラムがあります。
支えあって学びあうって、楽しい。
そのことに気づいていくことで、人と人がやさしく支えあえる社会にしていきたいと思っています。

施設紹介

現在、6つのキャンパスと畑があります。

萩の風キャンパス

- 特別養護老人ホーム
- 地域密着型特別養護老人ホーム
- 共生型デイサービスセンター
- 相談支援センター
- 居住支援センター(住宅確保要配慮者居住支援事業)
- 嫁入りの庭
- ライフの図書館
- 無料学習支援教室
- 駄菓子屋「かみふうせん」
- こども食堂「おかえり」
- サポートセンター(法人本部)

上飯田キャンパス

- 居宅介護支援センター
- 訪問介護支援センター(休止中)

幸町キャンパス

- グループホーム
- (仮)児童発達支援/放課後等デイサービスセンター
- (仮)共生型多機能センター

霞目キャンパス

- 就労支援センター(就労継続支援B型)
- ウェルカム! カフェ
- シェアハウス(職員宿舎)

新田キャンパス

- ゆとりの医科歯科クリニック

六郷キャンパス

- 地域密着型特別養護老人ホーム
- 共生型看護多機能センター
- 保育園(事業所内保育)

みんなの畑

行動規範

人にやさしく 生きる

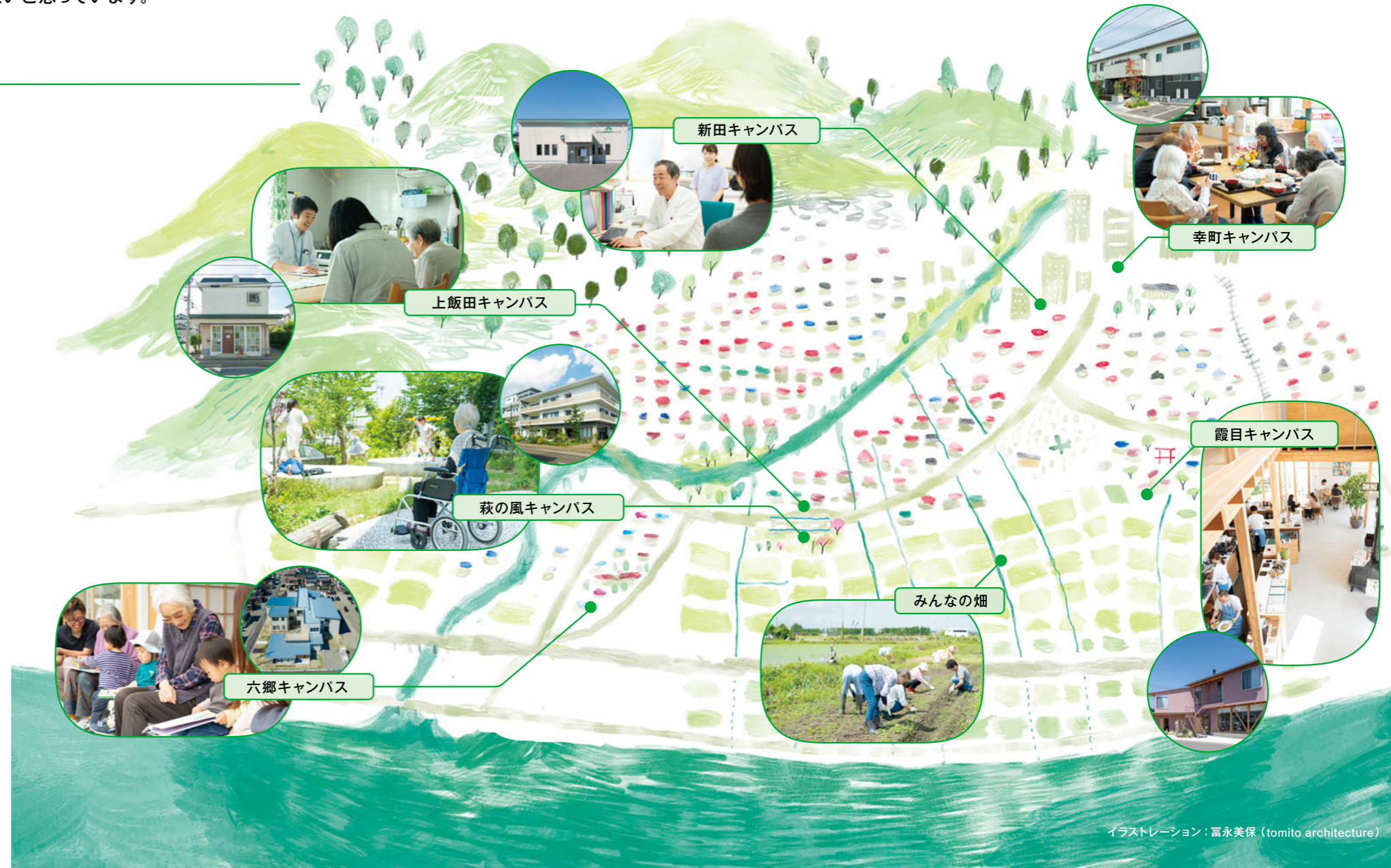
誰に対しても感謝の心で接し、
謙虚な姿勢を大切にしよう。
お互いに心から認めあい、
何がその人のためになるかを
常に考えて行動しよう。

ともに学び 生きる

誠実に向きあい、
すべての人の尊厳を
大切にしよう。
すべての人の自己実現のために、
勇気をもって挑戦しよう。

ともに愉しく^{たの} 生きる

笑顔で元気なあいさつを基本に、
ユーモアを大切にしよう。
一人ひとりが全力をつくし、
最後まで結果に責任をもとう。



役員紹介



1 田中伸弥 たなか・のぶや

理事長／統括施設長

秋田県出身。大学卒業後、社会福祉法人が運営する介護老人保健施設に介護主任として3年半従事。その後、医療法人社団が運営する病院併設の介護老人保健施設、デイケアで相談員などを経験したのち2011年、当法人の特別養護老人ホーム萩の風（現・萩の風キャンパス）施設長に就任。2013年常務理事兼施設長に就任。2019年より現職。

理事会出席回数：04/04(100%) 役員報酬：有 職制上の給与：有

3 渡辺 勇 わたなべ・いさむ

理事／萩の風キャンパス管理者

秋田県出身。大学卒業後、介護老人保健施設に介護職として6年半従事のうち介護老人福祉施設に介護職として1年半従事。2008年、当法人に入職。特別養護老人ホーム萩の風（現・萩の風キャンパス）開設準備より携わる。施設ケアマネージャーとして7年従事し、2016年より生活相談員。2020年より現職。

理事会出席回数：04/04(100%) 役員報酬：有 職制上の給与：有

5 岡本雄輔 おかもと・ゆうすけ

理事／六郷キャンパス施設長

青森県出身。大学卒業後、社会福祉法人が運営する広域型特別養護老人ホームに介護職として2年、小規模多機能型居宅介護に4年、地域密着型特別養護老人ホームに6年従事。2020年、当法人に入職。サポートセンター事業企画、幸町キャンパス開設などに携わり、2024年より現職。

理事会出席回数：04/04(100%) 役員報酬：有 職制上の給与：有

7 鎌田裕次郎 かまた・ゆうじろう（非常勤）

監事／税理士法人クラフトマン代表社員税理士

兵庫県出身。大学卒業後、株式会社日立製作所にてエンジニアとして勤務。税理士を志して退職。税理士法人勤務を経て2016年に独立。2017年、税理士法人クラフトマンを設立。代表社員税理士。2021年より当法人の監事を務める。

理事会出席回数：02/04(50%) 役員報酬：有 職制上の給与：無

2 菅原篤人 すがわら・あつと

常務理事（業務執行理事）／萩の風キャンパス施設長

宮城県出身。大学卒業後、社会福祉法人が運営する介護老人保健施設に介護職として7年、支援相談員として3年従事。2013年、当法人に入職。生活相談員として従事し、2016年理事に就任。2017年常務理事に就任。2020年より現職。

理事会出席回数：04/04(100%) 役員報酬：有 職制上の給与：有

4 小丸直己 こまる・なおき

理事／上飯田キャンパス施設長

宮城県出身。大学卒業後、社会福祉法人が運営する介護老人保健施設に入職し、介護支援専門員資格を取得。その後、医療法人社団が運営する法人で2年ほど居宅ケアマネージャーとして従事。2014年、当法人に入職。居宅介護支援センターの開設準備を行い、2015年開設。2021年より現職。

理事会出席回数：04/04(100%) 役員報酬：有 職制上の給与：有

6 金沢和樹 かなざわ・かずき（社外非常勤）

理事／株式会社ミツイ代表取締役社長

秋田県出身。大学卒業後、大手IT商社にて10年間営業で勤務。2014年、福祉事業を多数展開する株式会社ミツイを起業し、代表取締役社長に就任。2018年仙台「四方よし」企業大賞優秀賞、2019年グッドキャリア企業アワード大賞など受賞多数。2020年より当法人の理事を務める。

理事会出席回数：03/04(75%) 役員報酬：有 職制上の給与：無

8 早坂勇人 はやさか・ゆうと（非常勤）

監事／社会福祉法人チャレンジらいふ副理事長

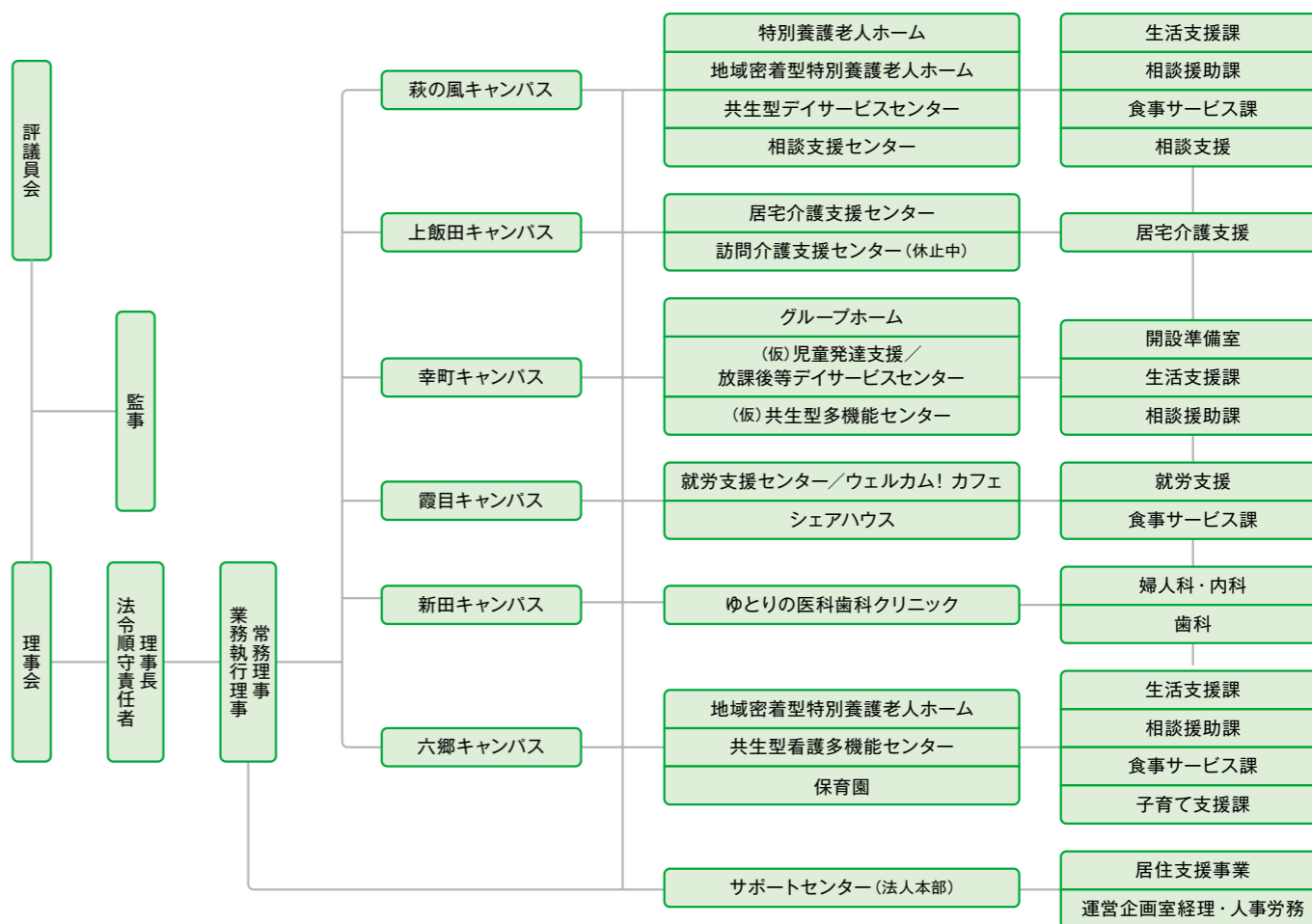
宮城県出身。アメリカの公立大学を中退。ホテルサービス勤務を経て、2010年より社会福祉法人やまとみらい福祉会理事兼事務局長。その後、特別養護老人ホーム施設長、保育園設立、障害福祉事業設立を経て、2023年に退職。同年より現職となりソーシャルファームや障害福祉事業を設立。2022年より当法人の監事を務める。

理事会出席回数：04/04(100%) 役員報酬：有 職制上の給与：無

法人概要

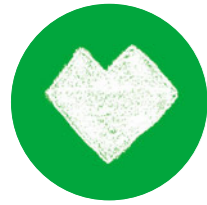
法人名称 所在地 電話	社会福祉法人ライフの学校 宮城県仙台市若林区上飯田字天神 1-1 022-289-8555
役員	理事長：田中伸弥 常務理事（業務執行理事）：菅原篤人 理事：渡辺 勇 小丸直己 岡本雄輔 金沢和樹（社外非常勤） 監事：鎌田裕次郎（非常勤） 早坂勇人（非常勤） 評議員：日野 尊 小島幸治 千葉幸悦 庄子清典 穀田雄一 渡辺勝幸 福井大輔 評議員選任解任委員会：高田洋樹 鎌田裕次郎
法律顧問 社会福祉法人会計顧問	官澤綜合法律事務所 辻・本郷税理士法人

組織図



数字で見る2024年度

法人



サービス活動収益

9.3億円

六郷キャンパスの開設により、前年度に比べて売上高は32%上昇しています。

理事会の開催回数

4回

4回ともすべてオフラインでの開催となりました。

役員の平均年齢

43歳

役員紹介の詳細はp.04にあります。

パートナー（利用者）



長期入居パートナーの数

98人

六郷キャンパスの開設により、定員が29人増えました。

施設での看取りの割合

54.5%

萩の風キャンパス
特別養護老人ホーム

100%

萩の風キャンパス
地域密着型
特別養護老人ホーム

75%

六郷キャンパス
地域密着型
特別養護老人ホーム

原則は施設でお看取りをしています。そのほか医療的なケアが必要となり病院へ移ったケース、また家族の希望により他施設への移動をしたケースがありました。

スタッフ



スタッフ数

176人

六郷キャンパスの開設により、前年度に比べて33人のスタッフが増えました。また保育園の開設で保育士が6人増えています。

スタッフの平均年齢

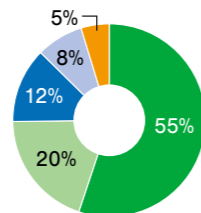
36.5歳

平均年齢は、前年度の37.2歳から0.7歳ほど低くなりました。

有資格者の数

127人

主たる事業が高齢福祉事業のため、有資格者のうち介護福祉士が占める割合が55%でした。



■ 介護福祉士 ■ 保育士
■ 社会福祉士 ■ 精神保健福祉士
■ 看護師

外国籍スタッフの数

29人

県内の事業所のなかでは高い割合です。外国籍スタッフが活躍できる環境をつくるのが、すべてのスタッフにとって働きやすい場につながると考えています。

障害者の雇用人数

2.5人

2年連続で当法人の就労継続支援B型事業所から直接雇用者を1人採用しており、次年度以降はさらに積極的な採用を計画しています。

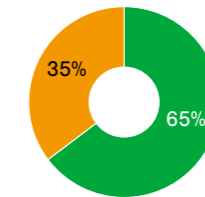
地域とのかかわり



イベントの参加者数

932人

ウィークエンドプログラム参加者は地域の子育て世代、パートナー、パートナーの家族、スタッフの家族、子どもなど、未就学児から40代が多い傾向があります。



■ ウィークエンドプログラム
■ 子ども食堂

無料学習支援教室の利用者数

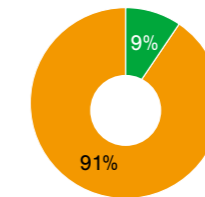
309人

登録者数は仙台市立沖野小学校、沖野東小学校合わせて10人（定員）です。学校とも情報共有をしながら、子どもの居場所となれるよう活動を続けたいと考えています。

居住支援の相談件数

74件

相談件数は前年度比で12件減りました。また、相談件数に対して物件契約数が少ないのは、一般賃貸住宅の確保が難しい状況が背景にあります。



■ 物件契約数
■ 物件未契約数

主なメディア掲載実績

● 雑誌「新建築」（新建築社、2024年5月号）

「社会福祉法人ライフの学校 六郷キャンパス」「社会福祉法人ライフの学校 霞目キャンパス」「特集：共に居る場——ケアから広がる建築」

● ウェブマガジン「ココ」（マガジンハウス、2025年1月23日）

「地域の歴史や文化とともに歩む福祉とは？ ライフの学校「六郷キャンパス」をたずねて」

<https://co-coco.jp/series/nursing/gakkou-life-3> [2025年6月30日最終閲覧]

● 雑誌「月刊福祉」（全国社会福祉協議会、2024年11月号）

「FUKUSHIを創る 第19回 “いのち”と向き合う『福祉×教育』で福祉施設を多世代が集まる空間に」

● 新聞「河北新報」「河北新報オンライン」（2025年2月14日）

「共生型サービス、制度の壁外し個別支援<変革期の特養 逆境の中で(6)>」

<https://kahoku.news/articles/20250213khn000062.html> [2025年6月30日最終閲覧]

ニュース

NEWS 1

六郷キャンパスがオープンしました！

2024年4月、ライフの学校初となる複合型施設「六郷キャンパス（以下、六郷）」がオープンしました。特別養護老人ホーム（以下、特養）、看護小規模多機能センター（以下、看多機）、保育園を中心に事業を展開し、自習室や調理場も備えた、仙台でも珍しい複合型の福祉施設です。なかでも看多機とは、「通い（デイサービス）」「泊まり（ショートステイ）」「訪問介護（ヘルパー）」「訪問看護」を包括する介護保険サービスとして、この地区では初めての事業所となります。六郷は、東日本大震災で大きな津波被害を受けた沿岸部に近く、もともとあった特養が移転するなど、高齢福祉を担う事業が待望されていました。

さらに10月からは、看多機が「共生型」へ移行。高齢者だけでなく障害者の利用も可能になりました。共生型への移行自体は以前から構想されていましたが、予定よりも早いスタートに。それはある一人の就労パートナー、Mさんの事情がきっかけでした。

高齢の母と暮らしながら霞目キャンパスに通っていたMさん。肢体障害があるため自宅では母が身の回りのサポートをしていました。しかし、2024年に入り母の持病が悪化し、手術・入院が必要となったことで、Mさんの日常のサポートが困難に。そこで、看多機のショートステイを利用できないか、と担当のケアワーカーから相談があつ



たのが夏ごろのことでした。これを受けて急遽、共生型への申請を開始し、異例の速さで移行しました。

こうして施設の運用に力を入れてきた一年。次年度からは、よりひらかれた施設として地域との関係性を築いていきます。2025年6月からは、地域への自営給食の提供（1食550円）や学用品販売、駄菓子屋もはじめます。「地域にとって、困ったことがあつたらここに相談に来たい、と思える施設を目指せたら」と施設長の岡本雄輔は話します。

NEWS 2

インドで特定技能資格者の採用面接を行いました。



ライフの学校では、2019年度から積極的に外国籍スタッフの採用を続けています。それは単に将来的な人材不足に対応するためだけでなく、さまざまな国のスタッフと一緒に働くことが、ライフの学校の理念でもある「学びあい」につながると考えるからです。

これまではインドネシア、タイ、ネパール、バングラデシュ、ベトナム、ミャンマーの、6か国からのスタッフが働いていましたが、2024年度より初めて、特定技能制度によるインド国籍のスタッフの採用をスタートしました。インドからの雇用は、これまで日本であり進んでいませんでしたが、2021年にインドと日本の間で協力覚書（MOC）が交わされ、近年はインド政府が公認する送り出し機関の整備が進み、大手介護事業者が現地に教育研修施設を設けるなどの動きもあります。インドではカースト制度の影響や衛生環境の事情から「安心・安全な日本で働きたい」という若者が多く、今後、より受け入れが進むと予想されます。

2024年9月、採用面接のため理事長の田中伸弥を含む3名がインド北部のウッタル・プラデーシュ州を訪問しました。社会福祉法人福祉楽団（千葉県）、社会福祉法人愛川舜寿会（神奈川県）と3法人合同で、2日間にわたり面接を実施。約40名の応募者から、ライフの学校では4名を採用し、2025年7月から入職する予定です。

NEWS 3

「働くデイサービス」をはじめました！

障害のある人と高齢者がともに通う、萩の風キャンパスの共生型デイサービスセンターでは、2024年4月より「働くデイサービス」をはじめました！希望者が有償ボランティアで、洗濯業務を行っています。

デイサービスに通う高齢者のほとんどは、家や地域が生活の中心で、日常生活動作などの維持・向上が必要です。しかし、デイサービスでは野菜を収穫したり、食器を片付けたりといった動作ができる人でも、自宅では家族が家事を行っており、本人はもどかしさを抱えている状況がありました。また、生活介護事業所に通っている人と同じ作業をしても、デイサービスでは工賃が発生しないのは不公平ではないかという思いがありました。

そこで、仙台市の介護事業支援課と協議を重ね、仕組みを整えたのが「働くデイサービス」です。最初はスタッフと一緒に作業を行っていましたが、いまでは声かけをしなくても、自主的に洗濯機を回したり、洗濯物を干したりしています。「誰かのためにできることがあつてうれしい」「お金を貯めて旅行に行きたい」という声も。

現在、1日2名体制で、謝礼は1回100円（法人内の就労継続支援



B型の工賃と同額）。スタート時にはデイサービスに登録している高齢者と障害者54名のうち44名が希望し、現在37名が働いています。希望を取り下げた人からは「立ち仕事しんどかった」という声があったため、縫い物や袋詰め、絵付けなど座りながらできる仕事をつくろうとしているところです。認知症や障害の程度だけでなく、個人の得意なこと、好きなことにあわせて作業を選べるように、地域にある企業と連携して選択肢を増やしていくことが目標。そして、ゆくゆくは謝礼額も増やしていきたいと考えています。

NEWS 4

住宅確保要配慮者への居住支援の物件契約を7件行いました。



るものです。

居住支援を行うようになったのは、5年ほど前、刑務所出所者や外国籍のスタッフを受け入れてくれる不動産会社がなかなか見つからなかったことがきっかけでした。このときの経験が居住支援事業、そして不動産事業へとつながっています。

家を失うということは、経済的な困窮に加えて社会的な孤立にもつながるため、課題解決だけでなく、社会参加や人とのつながりをつくることをゴールとした伴走型支援が求められています。また、住まいについて困っている人の多くが、複合的な困難を抱えているという状況が見えてきました。オンラインの手続き方法がわからず支払いを滞納していたり、栄養不足で体調が悪かったり、認知症や心身の不調によって家を片付けられなくなっていたり。生活設計を見直し、手続きや契約を手伝い、食料品を届け、掃除をし、オーナーの不安を解消するために身元引受人になるなど、各支援機関と連携しながらさまざまな支援を行っています。「断らない相談支援」を目指して、相談者がそのとき一番困っていることを一つずつ解決していきたいと思っています。

萩の風キャンパスにある居住支援センターでは、都道府県が指定する居住支援法人として、低所得者や被災者・高齢者・障害者・子育て世帯などに対する住宅確保要配慮者居住支援事業を行っています。住まいに関する相談から物件紹介、内見への同行、契約、入居後の見守りなどの生活支援を実施。2024年度は、74件の相談に対して、7件の物件契約を行いました。相談件数に対する物件契約数の差は、貸主に協力を得るのが難しく、物件が見つからないことによ

NEWS 5

知的障害のあるYさんのケアマネジメントに奔走しました。

上飯田キャンパスにある居宅介護支援センターでは、どんなに困難なケースであっても受け入れ、地域になくてはならない存在になることを目指しています。

2024年4月には、これまで生活介護事業所とショートステイ、通院介助を利用していた、知的障害のあるYさんが65歳になったため、ケアマネージャーが奔走しました。

もともとYさんと出会ったのは、Yさんのお母さんが認知症になり、自宅での生活が困難になったことから。お母さんの「Yを置いてはいけない。できればこれまでのように二人で一緒に暮らしたい」という願いを受け、お母さんの入所した施設でともに暮らすスキームを構築しました。

しかし、お母さんが他界。さらに、65歳になると障害福祉サービスではなく、介護保険サービスを優先して受けるようになります。Yさんの場合は、サービス付き高齢者住宅や障害者グループホームに引越越し、介護保険でヘルパーを利用しながら障害福祉サービス事



業所へ通うのが一般的です。ただ、Yさんは新しい環境に慣れるのが苦手な特性があるため、ケアマネージャーが相談支援専門員と連携し、仙台市の障害者支援係や介護保険係と相談を重ね、これまでと同じようにライフの学校のショートステイから、別法人の障害福祉サービスの事業所へ通う許可が下りました。

福祉制度は複雑で、ときにサービスの分類によって、家族や地域などとの関係性をも分断してしまうことがあります。一人ひとりに寄り添うためにも、当事者だけでなく、その人が暮らしてきた関係性全体を見て、よりよい環境を整えていきたいと考えています。

NEWS 6

ウェルカム！カフェにて「インドネシアフェア」を開催しました。



芸品、居住支援の際に発掘した骨董品こつとうひんをきれいにしておしゃれに販売したりするなど、さまざまな交流を試みています。

2024年7月には、インドネシア出身のスタッフが「ナシクニン」という料理をつくり、インドネシアの伝統衣装である、ろうけつ染めの「パティック」をまもってお客さんを出迎える、インドネシアフェアを開催しました。インドネシア語で「ナシ」は「ごはん」、「クニン」は「黄色」の意味。その名の通り、お米をウコンとココナッツミルクで炊いたインドネシアの代表的な料理で、結婚式などのお祝いやお祭りの日に食べる一品です。ライフの学校で働いて3年目のアマリアさんは、「日本ではまだインドネシア料理は珍しいから、こうやって自分の国のことを知ってもらえてうれしい」と語ります。当日は、以前、インドネシアで暮らしていた人がSNSを見て来店し、思い出話に花が咲いたそうです。

2025年2月にはベトナムフェアを開催し、ベトナム出身のスタッフが民族衣装である「アオザイ」を着て、「鶏肉のフォー」をふるまいました。毎回、日本人向けに辛さを調整したり、盛り付けや値段を考えたり。外国籍のスタッフが、就労支援のパートナーや管理栄養士と相談しながら、準備をしています。次はどこの地域の料理が登場するのか、お楽しみに！

霞目キャンパスのウェルカム！カフェでは、就労支援のパートナーが昔懐かしい洋食を提供しています。2階には外国籍スタッフの暮らすシェアハウスがあり、週に1度の掃除も就労支援のパートナーの仕事。さまざまな人が自然に混じりあう「福祉の出張所」として、地域のお祭りに出店したり、就労支援センターで飼育中のメダカや手

NEWS 7

幸町キャンパスに共生型多機能センターを建設中です！

幸町キャンパス（以下、幸町）のグループホームの隣に、共生型多機能センターの建設がはじまりました。1階では小規模多機能型居宅介護を、2階では児童発達支援／放課後等デイサービスを行います。

小規模多機能型居宅介護とは、できるだけ自立した日常生活を送ることができるよう、施設へ通うデイサービスを中心に、ショートステイや訪問介護を選択できるサービスです。通常はそれぞれの状況にあわせて個別に契約する必要がありますが、共生型多機能センターは、そのときの状況に応じて柔軟にサービスを選ぶことができます。「なるべく最期まで家で過ごしたい」という願いに応えつつ、自宅での生活が困難になった場合には「顔馴染みのスタッフ」が最期まで支えることも可能になります。児童発達支援／放課後等デイサービスは、心身に障害のある小学生から高校生を対象に、一人ひとりの状況にあわせた活動や支援が行われる、家庭や学校とは異なるもう一つの居場所です。

2022年4月にキャンパスを開設して3年。初めての若林区以外での事業でしたが、徐々に地域との関係性も生まれ、地域内にデイサービスや訪問介護、放課後等デイサービスが不足し、ニーズが高まっていることから、新たな事業をはじめることになりました。また、これまで幸町はグループホームの1事業だったため、感染症が発生した際の人員体制に限界を感じており、今後多事業展開することで



運営体制を強化するねらいもあります。

2025年10月にオープン予定！進捗は住民説明会やSNSなどで報告していきます。

NEWS 8

光ヶ丘スペルマン病院と協力医療機関協定を締結しました。



2024年10月、新田キャンパスとして「ゆとりの医科歯科クリニック」（婦人科・内科・歯科）を開設しました。院長は、長年、わたしたちの法人の嘱託医だった町田幸雄医師ちんだけいし。口腔の疾患や機能低下は全身に影響することがあるため、口腔と全身の健康管理ができる「かかりつけ医」を目指しています。

2025年7月には140床の一般病院である、一般財団法人やまこコミュニティホスピタル光ヶ丘スペルマン病院（内科・アレルギー科・呼吸器内科・神経内科・漢方内科・老年内科・皮膚科・リウマチ内科・小児科・緩和ケア内科・産婦人科）と協力医療機関協定を締結。これによって、現在、病院に通うのが難しい人のために往診（毎週火・木曜午後）を行っています。夜間や緊急時の受診、入院など患者さんのニーズにあわせた切れ目のないサービスができるようになりました。六郷キャンパスでの定期検診では、口腔内に白色の腫瘍しゅりょうを発見したことで専門医への受診につながり、口腔がんの発見と早期治療につながったケースがありました。こうした医療と福祉がいったいとなった支援体制を強化していきたいと思っています。

また福利厚生として、医師が各キャンパスに出向いて、勤務時間内にスタッフへの予防接種を行っています。今後は、スタッフの家族にも範囲を広げていく予定です。

基本情報

パートナー（利用者）

[高齢福祉]

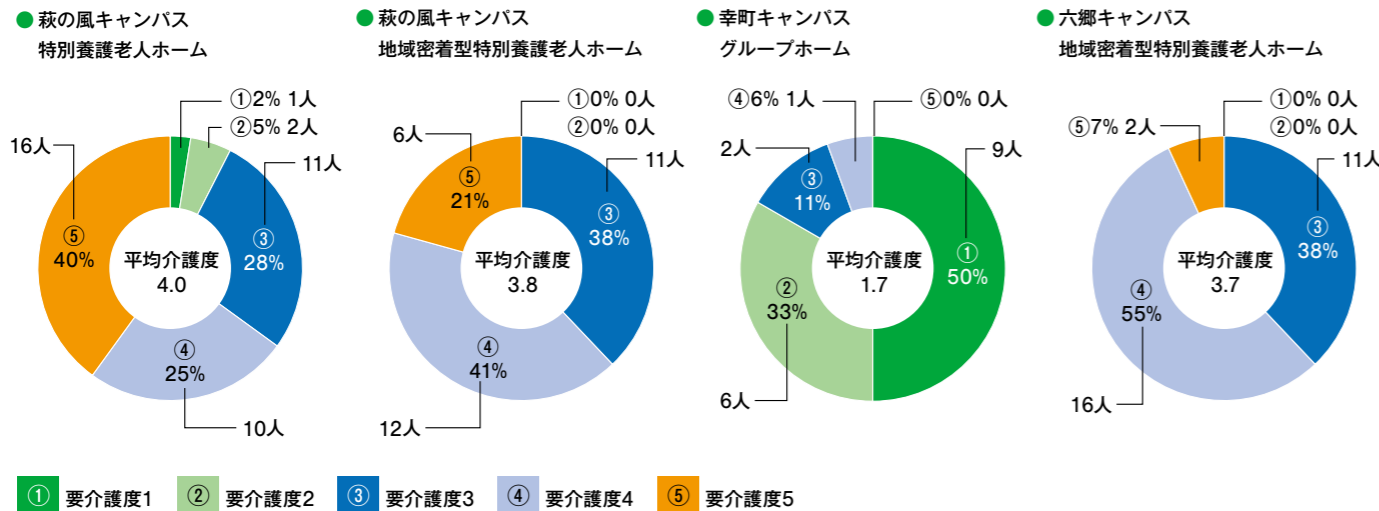
1 年間稼働率

法人全体のベッド稼働率は前期比2.6%減でした。特別養護老人ホームは全国平均と比較すると、2.5%高くなっています。

拠点	事業所	ベッド数	年間稼働率
萩の風キャンパス	特別養護老人ホーム	40床	96%
	地域密着型特別養護老人ホーム	29床	99.1%
幸町キャンパス	グループホーム	18床	96.9%
六郷キャンパス	地域密着型特別養護老人ホーム	29床	88.4%
法人全体		116床	95.1%

2 特別養護老人ホーム／グループホーム要介護度

法人内施設を比較すると、施設の開設年度が古いほど平均要介護度が高い傾向にあります。グループホームは認知症対応型共同生活介護です。



3 終末期ケアの状況

全国の死亡場所の統計*1によると64.4%の人が病院で亡くなり、老人ホームで死亡する人は11.5%です。ライフの学校では、施設で最期を迎えたい人に対して、その人が大事にしてきた「人」「もの」「こと」を尊重して看取りをする終末期ケアを行っています。2024年度は11人の看取りをしました。

拠点	事業所	看取り介護 加算算定件数	死亡退所者数	死亡場所		看取り率
				施設	その他	
萩の風キャンパス	特別養護老人ホーム	6人	11人	6人	5人	54.5%
	地域密着型特別養護老人ホーム	2人	2人	2人	0人	100%
幸町キャンパス	グループホーム	0人	0人	0人	0人	0%
六郷キャンパス	地域密着型特別養護老人ホーム	3人	4人	3人	1人	75%

*1 「2023年度 人口動態調査」(厚生労働省)より。

4 在宅サービス／ショートステイの利用率

萩の風キャンパスのショートステイ2事業は高齢者利用率が95%以上と非常に高く、安定運営が評価されます。一方、六郷キャンパスの看護多機能センターは31%と低く、改善の余地があり今後の課題となっています。

拠点	事業所	高齢者	障害者
萩の風キャンパス	共生型ショートステイ(定員10人)	99.8%	2%
	地域密着型特別養護老人ホーム ショートステイ(定員10人)	95.3%	*1
	共生型デイサービスセンター(定員18人)	83.8%	6.4%
六郷キャンパス	共生型看護多機能センター(定員29人)	31%	3.4%

*1 萩の風キャンパス地域密着型特別養護老人ホーム ショートステイのみ共生型未指定。

5 居宅介護支援の利用者数

居宅介護支援センターでは、主任介護支援専門員3人、介護支援専門員1人を配置。パートナーができる限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、本人の心身の状況や環境に応じたケアプランを作成し、各事業者や関係機関との連絡や調整を行っています。

拠点	事業所	要支援	要介護	合計
上飯田キャンパス	居宅介護支援センター	354人	1,587人	1,941人

[障害福祉]

1 就労支援センター（就労継続支援B型）の利用率

就労支援センターでは、さまざまな理由から一般企業などで働くことが難しい人に対し、就労の機会を提供しています。霞目キャンパスの内部就労では飲食の仕事、外部就労では萩の風キャンパスや六郷キャンパスにて施設内の清掃や洗濯などの仕事を行っています。

拠点	事業所	利用率
霞目キャンパス	就労支援センター(定員20人)	76.4%

2 相談支援の利用者数

障害支援区分*1のなかでは区分2が11人と多く、軽度から中度の障害のある人からの相談が多いことを示しています。

拠点	事業所	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	その他*2	合計
萩の風キャンパス	相談支援センター	3人	11人	7人	2人	2人	0人	6人	31人

*1 障害のある人が必要とされる標準的な支援の度合いを総合的に示すもの。障害の状態によって1～6段階で区分されており、数字が大きいほど支援が必要。

*2 「その他」は障害支援区分認定の必要のない0～18歳未満で、身体・知的・精神・発達などの障害または難病があり、児童発達支援などのサービスを受けている児童。

[保育]

1 保育園の利用率

事業所内保育（小規模保育事業A型）は、事業所スタッフの勤務形態に応じた柔軟な保育を行う「従業員枠」と、地域の保育ニーズに応える「地域枠」により構成されています。初年度にもかかわらず、予定定員の60%を超える利用率を達成しました。

拠点	事業所	利用率
六郷キャンパス	保育園(定員19人)	63%

2 保育園の利用者数

開設初年度で定員の63%（12人）を確保しており、安定した運営基盤を築いています。地域枠の定員数に対して実際の利用者数に差異が生じていますが、従業員枠での利用者数が少ない場合は、地域枠として定員を広げて運営しています。

拠点	事業所	0歳	1歳	2歳	合計
六郷キャンパス	保育園(定員14人)従業員枠	1人	5人	0人	12人
	保育園(定員5人)地域枠	3人	3人	0人	

1 働き方の区分

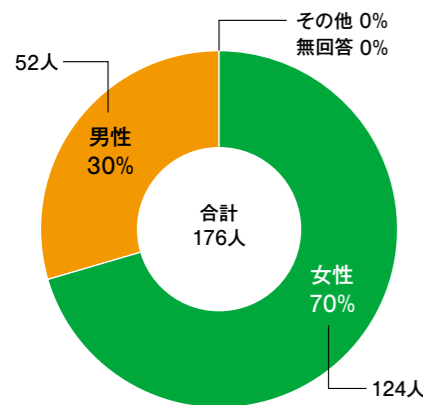
労働時間の長さや勤務形態の柔軟性の組み合わせによって、6区分に分類されています。こどもの誕生や進学などライフイベントにあわせて、年に1回働き方の区分の意向を聞いています。働き方を問わず、全員が無期雇用となっています。

	区分1 (全拠点異動可/変則勤務可)	区分2 (事業所限定/変則勤務不可)	合計
A区分(週40時間)	99人	39人	138人
B区分(週20時間以上40時間未満)	0人	11人	11人
C区分(週30時間未満)	0人	27人	27人
合計	99人	77人	176人

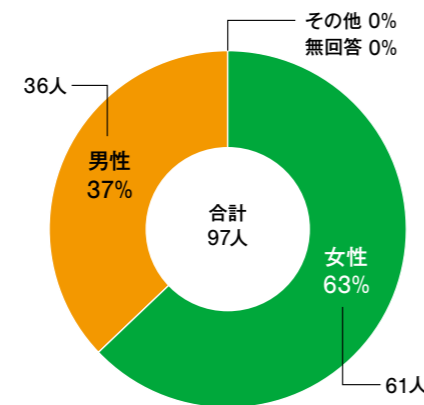
2 ジェンダー構成比

全体としては女性の割合が高く、特に介護スタッフは6割以上が女性です。

● 全スタッフ



● 介護スタッフ



3 外国籍スタッフの雇用状況

2019年度から外国籍スタッフの採用を行っています。自国の家族を養うために自身のキャリアを切実に考え、日本で働くことを選んだかれらの姿勢に多くのスタッフが刺激を受けており、今後もスタッフ総数に対して20%の雇用を目指していきます。

国籍	在留資格	介護	特定技能	技能実習	特定活動(EPA)	その他(留学生)*1	合計
インド		0人	4人	0人	0人	0人	4人
インドネシア		0人	0人	4人	0人	0人	4人
タイ		0人	0人	0人	0人	3人	3人
ネパール		1人	0人	0人	0人	0人	1人
バングラデシュ		1人	0人	0人	0人	4人	5人
ベトナム		2人	0人	0人	0人	0人	2人
ミャンマー		0人	0人	0人	0人	10人	10人
合計		4人	4人	4人	0人	17人	29人

*1 「その他(留学生)」は日本語学校で1年間日本語を学んだのち介護の専門学校へ入学、その後、介護福祉士の資格取得を目指している学生。

4 平均勤続年数/採用率/離職率

2021年度より新卒採用を積極的に行い、毎年11~17人ほど採用しています。そのため若い世代のスタッフが多く、勤続年数が短い傾向があります。

● 全スタッフ

	平均勤続年数	採用率*1(全国平均*2)	離職率*1(全国平均*2)
2022年度	3.7年	23% (14.4%)	15.3% (13.5%)
2023年度	3.5年	39.8% (14.4%)	20.9% (15.3%)
2024年度	4.1年	25.2% (-)	20.8% (-)

● 介護スタッフ

拠点	平均勤続年数	採用率*1(全国平均*2)	離職率*1(全国平均*2)
2022年度	3.2年	25.3% (15.7%)	11.3% (14.6%)
2023年度	3.6年	7.7% (16.3%)	20% (14.9%)
2024年度	4.5年	28.1% (-)	15.6% (-)

*1 採用(離職)率の試算方法は次の通り。採用(離職)率=当該年度の採用(離職)者数÷前年度末日の在籍者数。フルタイム職員(A1区分・A2区分)を対象に算出した。
*2 全国平均は「令和5年度介護労働実態調査結果」(公益財団法人介護労働安定センター)を参照。

● 新規学卒者の状況

	採用者数	3か月未満の離職者数	3か月以上6か月未満の離職者数	6か月以上1年未満の離職者数	1年未満の離職者数
2022年度	12人	0人	1人	1人	2人
2023年度	17人	1人	1人	2人	4人
2024年度	11人	0人	0人	0人	0人

● 平均勤続年数

	平均勤続年数	平均年齢
介護スタッフ	4.5年	34.6歳
看護師	2.5年	41.1歳
生活相談員	11.5年	37.4歳

	平均勤続年数	平均年齢
介護支援専門員	7.5年	43歳
全職種	4.1年	36.5歳

5 有給休暇等の取得状況

年次有給休暇の取得状況は、前年度と比較すると減っていますが、全国平均の62.1%*1と比較すると高い傾向にあります。また、育児休業の取得状況も全国平均よりも高い傾向にあります。

● 年次有給休暇の取得状況

	付与人数	付与総日数	取得日数	取得率	(前年度)
A区分*2	152人	2,912.8日	1,725日	59.2%	62.3%
B区分*2	14人	265.5日	169日	63.7%	90%
C区分*2	21人	289日	139日	48.1%	83.5%
法人全体	187人	3,467.3日	2,033日	57%	78.6%

*1 全国平均は「令和5年 就労条件総合調査」(厚生労働省)における「年次有給休暇の取得状況」を参照。
*2 就業時間が、A区分は40時間/週、B区分は20時間以上40時間未満/週、C区分は30時間未満/週のスタッフ。

● 育児休業の取得状況

	出産者数 (男性は配偶者)	取得者数	取得率(全国平均*3)
男性	1人	1人	100% (30.1%)
女性	4人	4人	100% (84.1%)

*3 全国平均は「令和5年度雇用均等基本調査」(厚生労働省)における「育児休業者割合」を参照。

● 退職金(確定拠出年金)の状況

	対象者数
A区分*2	137人
B区分*2	14人
合計	151人

1 エネルギー・水の使用量

数値は、全キャンパスの年間合計使用量を記しています。ただし、前年度は六郷キャンパス開設前の数値です。

	当年度（前年度）	前期比
ガスの使用量	30,969 m ³ (24,013 m ³)	129%
電気の使用量	1,046,403 kWh (762,869 kWh)	137.2%
水の使用量	16,614 m ³ (13,852 m ³)	119.9%

2 おむつの使用枚数

数値は、年間合計使用枚数を記しています。

拠点	事業所	おむつ	リハビリパンツ	尿取りパッド
萩の風キャンパス	特別養護老人ホーム	7,300枚	6,570枚	66,430枚
	地域密着型特別養護老人ホーム	5,475枚	4,745枚	49,640枚
六郷キャンパス	地域密着型特別養護老人ホーム	3,285枚	6,935枚	41,245枚
法人全体		16,060枚	18,250枚	157,315枚

1 事故の発生状況

2023年度に発生した事故268件のうち、事故レベル5以上の件数は12件でした。2024年度の事故は373件のうち、事故レベル5以上は6件と減少しています。レベル6の事故はありませんでした。

● 事故の発生状況

拠点	事業所	事故レベル					
		レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	レベル6
萩の風キャンパス	特別養護老人ホーム	72件	18件	3件	1件	2件	0件
	地域密着型特別養護老人ホーム	85件	8件	0件	0件	1件	0件
	共生型デイサービスセンター	9件	2件	0件	0件	0件	0件
幸町キャンパス	グループホーム	24件	0件	1件	0件	1件	0件
霞目キャンパス	就労支援センター	1件	0件	0件	0件	0件	0件
六郷キャンパス	地域密着型特別養護老人ホーム	114件	24件	1件	0件	2件	0件
	共生型看護多機能センター	3件	0件	0件	0件	0件	0件
	保育園	0件	0件	1件	0件	0件	0件
合計		308件	52件	6件	1件	6件	0件

[各事故レベルについて]

事故レベル1：経過観察
 事故レベル2：誤嚥（ごえん）/施設内で看護師の処置が必要になった
 事故レベル3：行方不明/医療機関への受診が必要になった/受診の結果、縫合や固定等の処置は必要なかった

事故レベル4：検査の結果、全治14日未満（見込み）の縫合や固定等の処置や入院が必要になった
 事故レベル5：全治14日以上（見込み）の治療や入院が必要となった/事故の結果、障害や後遺症が残った
 事故レベル6：事故により死亡となる（現疾患の自然経過によるものを除く）

● レベル5以上*1の事故の内訳

骨折	誤嚥	その他	合計
2件	0件	0件	2件
1件	0件	0件	1件
0件	0件	0件	0件
1件	0件	0件	1件
0件	0件	0件	0件
1件	0件	1件	2件
0件	0件	0件	0件
0件	0件	0件	0件
5件	0件	1件	6件

*1レベル5以上の事故件数のうち、レベル6の事故件数は0件。「その他」の1件は、転倒による頭部外傷によって入院を伴ったもの。

2 虐待および身体拘束の状況

● 虐待の状況

高齢者・障害者虐待防止法に定める「虐待の疑いがある」と判断して、市町村へ通報した事案はありませんでした。

● 身体拘束の状況*1

身体拘束を行った事案はありませんでした。

拠点	事業所	実施人数	実施日数
萩の風キャンパス	特別養護老人ホーム	0人	0日
	地域密着型特別養護老人ホーム	0人	0日
幸町キャンパス	グループホーム	0人	0日
六郷キャンパス	地域密着型特別養護老人ホーム	0人	0日

*1当法人では原則として身体拘束は行いませんが、下記の「緊急やむを得ない場合」の3要件に該当する場合は、身体拘束を行うことがあります。

「緊急やむを得ない場合」の3要件
 ① 切迫性：利用者やほかの利用者の生命や身体に危険が及ぶ可能性が高い場合
 ② 非代替性：身体拘束以外に代替する介護方法がない場合
 ③ 一時性：身体拘束は一時的なものである場合
 ※「緊急やむを得ない場合」の3要件とは、高齢者虐待防止法および介護保険法に関連する法律やガイドラインによる、主に介護や医療の現場で身体拘束を行う際の正当化要件法による。

3 感染症等の集団感染状況

感染症法に定める1類から3類の感染症について、施設内での発生、および10人を超える感染症の発生はありませんでした。

拠点	事業所	感染者数*1
萩の風キャンパス	特別養護老人ホーム	0件
	地域密着型特別養護老人ホーム	0件
	共生型デイサービスセンター	0件
幸町キャンパス	グループホーム	0件
霞目キャンパス	就労支援センター	0件
六郷キャンパス	地域密着型特別養護老人ホーム	0件
	共生型看護多機能センター	0件
	保育園	0件
合計		0件

*1「感染者数」は、事業所で感染対策警戒レベルを上げ対応に至った数を反映。

4 労働災害の状況

厚生労働省の定義にもとづき、スタッフが業務遂行中に業務に起因して受けた業務上の災害（業務上の負傷、業務上の疾病及び死亡）を報告します。

拠点	事業所	件数	職種	災害種別	主な被災内容
萩の風キャンパス	特別養護老人ホーム	1件	介護	労働災害	① 職員玄関にて、段差に気づかず足をひねる。
	地域密着型特別養護老人ホーム	2件	介護	労働災害	① トイレ誘導中に便座に座りきれなかったパートナーを、床に転ばないように支えたために腰を痛める。 ② 移乗介助中に腰を痛める。

5 関連当事者との取引等の内容

開示対象となる関連当事者との取引（関連当事者で行った取引で、法人全体で年間合計1千万円を超えるもの）に該当しませんが、以下の取引について公表します。

● 関連当事者との取引について

種類	法人の名称	所在地	事業の内容	議決権の所有者とその割合	取引内容	取引金額
役員または評議員およびそれらの近親者が、議決権の過半数を有している法人	合同会社 Live研究所	宮城県仙台市	不動産業 清掃管理	田中伸弥(100%)	職員宿舍賃貸・清掃管理	7,734千円
					就労支援センター 清掃管理業務受託	3,489千円

* 取引条件および取引条件の決定方針等：理事会において「特別の利害関係を有している理事」は、当取引に関する議案の審議および決議に参加していません。

● その他

種類	法人の名称	所在地	事業の内容	議決権の所有者とその割合	取引内容	取引金額
関連当事者に該当しないが、当法人が株式を所有している会社	株式会社 農業耕社ライフ	宮城県仙台市	農作物の生産 加工販売	当法人(10%) 田中伸弥(30%)	農作・耕作物の生産、加工販売 業務受託	910千円
					農作業場賃料支払い	6,000千円

* 取引条件および取引条件の決定方針等：理事会において「特別の利害関係を有している理事」は、当取引に関する議案の審議および決議に参加していません。

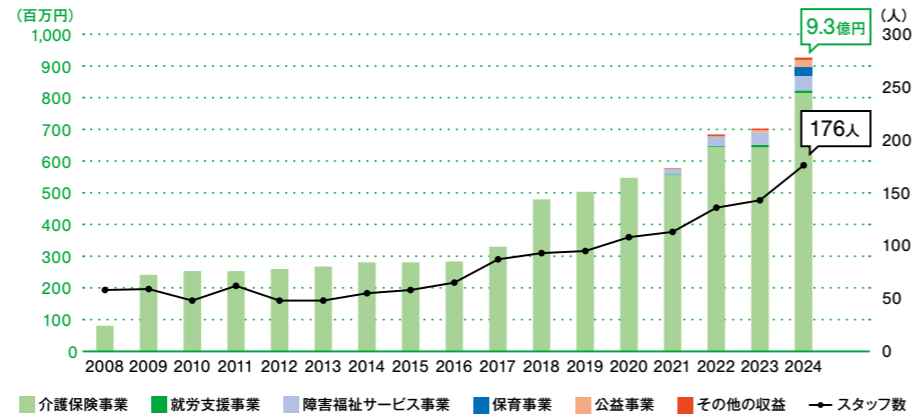
財務情報

1 財務ハイライト

- 法人全体での当期サービス活動収益額は、前年度比223,982,966円増の926,653,154円。
- 介護保険事業、就労支援事業、障害福祉サービス事業は、過去最高益。
- 医療事業収入（ゆとりの医科歯科クリニック）は、2024年度に単月黒字化達成。
- 2024年度居住支援事業補助額は、3,799,093円。
- 公益財団法人JKAによる2024年度福祉機器の整備補助事業（特殊浴槽）は、4,125,000円。
- 令和6年度宮城県外国人留学生支援事業費補助金は、1,780,000円。
- 令和6年度仙台市福祉施設等物価高騰対策事業補助金は、全事業所合計で2,550,100円。
- 2024年度の社会福祉充実残額の発生はなし。

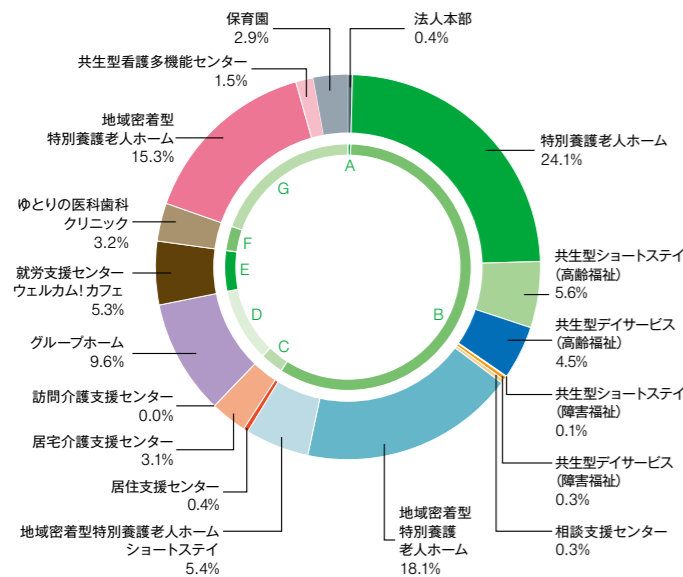
2 サービス活動収益とスタッフ数

ライフの学校の前身となる社会福祉法人ウエル千寿会は2007年度に設立し、2008年度より介護保険事業を開始しました。2020年度に社会福祉法人ライフの学校に名称を変更して以降、多事業を展開しています。

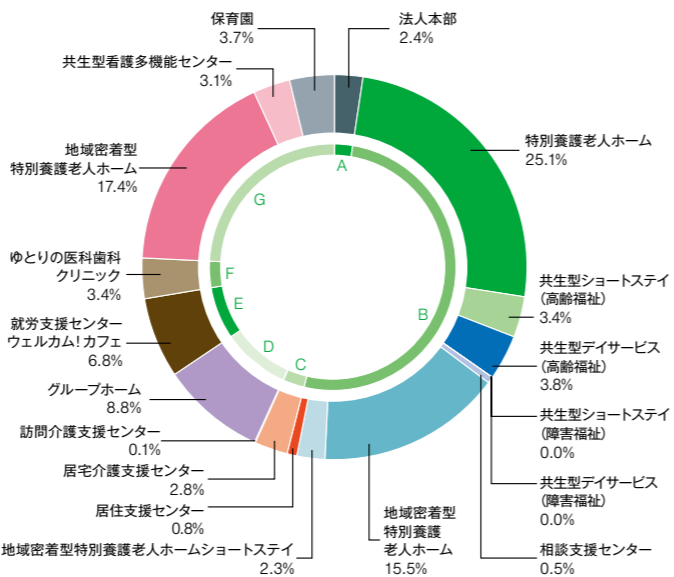


3 収益内訳

● サービス活動収益



● サービス活動費用



4 資金収支計算書

勘定科目		決算
事業活動による収支	収入	
	介護保険事業収入	815,111,349
	老人福祉事業収入	0
	保育事業収入	26,297,150
	障害福祉サービス等事業収入	47,080,594
	生活保護事業収入	0
	医療事業収入	22,419,838
	就労支援事業収入	8,224,573
	経常経費寄附金収入	1,282,960
	受取利息配当金収入	41,762
	その他の収入	18,965,064
	事業活動収入計(1)	939,423,290
	支出	
人件費支出	582,505,422	
事業費支出	165,672,253	
事務費支出	133,670,688	
当期就労支援事業製造原価支出	12,741,403	
利用者負担軽減額	124,664	
支払利息支出	12,927,940	
その他の支出	102,996	
事業活動支出計(2)	907,745,366	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	31,677,924	
施設整備等による収支	収入	
	施設整備等補助金収入	5,348,500
	施設整備等寄附金収入	0
	設備資金借入金収入	15,000,000
	固定資産売却収入	0
	その他の施設整備等による収入	0
	施設整備等収入計(4)	20,348,500
	支出	
	設備資金借入金元金償還支出	132,416,000
	固定資産取得支出	21,977,900
固定資産除却・廃棄支出	0	
ファイナンス・リース債務の返済支出	0	
その他の施設整備等による支出	0	
施設整備等支出計(5)	154,393,900	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△134,045,400	
その他の活動による収支	収入	
	長期運営資金借入金収入	0
	役員等長期借入金収入	0
	長期貸付金回収収入	300,000
	投資有価証券売却収入	2,500,000
	積立資産取崩収入	0
	その他の活動収入計(7)	2,800,000
	支出	
	長期運営資金借入金元金償還支出	3,045,000
	役員等長期借入金元金償還支出	0
長期貸付金支出	6,030,000	
投資有価証券取得支出	0	
積立資産支出	0	
その他の活動による支出	0	
その他の活動支出計(8)	9,075,000	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△6,275,000	
予備費支出(10)		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△108,642,476	
前期末支払資金残高(12)	275,933,612	
当期末支払資金残高(11)+(12)	167,291,136	

5 事業活動計算書

勘定科目		当年度決算(A)
サービス活動増減の部	収益	
	介護保険事業収益	815,111,349
	老人福祉事業収益	0
	保育事業収益	26,297,150
	障害福祉サービス等事業収益	47,080,594
	生活保護事業収益	0
	医療事業収益	22,419,838
	就労支援事業収益	8,224,573
	経常経費寄附金収益	1,282,960
	その他の収益	6,236,690
	サービス活動収益計(1)	926,653,154
	費用	
	人件費	595,289,822
事業費	165,672,253	
事務費	133,670,688	
当期就労支援事業製造原価費用	12,741,403	
利用者負担軽減額	124,664	
減価償却費	74,068,063	
国庫補助金等特別積立金取崩額	△28,221,496	
その他の費用	0	
サービス活動費用計(2)	953,345,397	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△26,692,243	
サービス活動外増減の部	収益	
	受取利息配当金収益	41,762
	有価証券売却益	0
	投資有価証券売却益	0
	積立資産評価益	0
	その他のサービス活動外収益	12,728,374
	サービス活動外収益計(4)	12,770,136
	費用	
	支払利息	12,927,940
	有価証券売却損	0
投資有価証券売却損	0	
積立資産評価損	0	
その他のサービス活動外費用	102,996	
サービス活動外費用計(5)	13,030,936	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	△260,800	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△26,953,043	
特別増減の部	収益	
	施設整備等補助金収益	5,348,500
	施設整備等寄附金収益	0
	固定資産売却益	0
	事業区分間固定資産移管収益	0
	拠点区分間固定資産移管収益	0
	その他の特別収益	35,749,412
	特別収益計(8)	41,097,912
	費用	
	基本金組入額	0
固定資産売却損・処分損	0	
国庫補助金等特別積立金積立額	5,348,500	
事業区分間固定資産移管費用	0	
拠点区分間固定資産移管費用	0	
特別費用計(9)	5,348,500	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	35,749,412	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	8,796,369	
繰越活動増減差額の部		
前期繰越活動増減差額(12)	191,596,318	
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	200,392,687	
基本金取崩額(14)	0	
その他の積立金取崩額(15)	0	
その他の積立金積立額(16)	0	
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	200,392,687	

6 貸借対照表

(単位:円)

資産の部		負債の部	
	当年度末		当年度末
流動資産	190,832,787	流動負債	99,372,651
現金預金	84,129,302	事業未払金1年以内返済予定	22,347,501
事業未収金	102,043,018	設備資金借入金1年以内返済予定	55,320,000
未収金	0	長期運営資金借入金	5,166,000
未収補助金	1,156,000	預り金	63,302
貯蔵品	1,353,850	職員預り金	1,130,848
立替金	249,109	賞与引当金	15,345,000
前払金	98,418	固定負債	1,294,223,000
前払費用	1,792,750	設備資金借入金	1,134,389,000
その他の流動資産	10,340	長期運営資金借入金	159,834,000
固定資産	2,050,566,539	負債の部合計	1,393,595,651
基本財産	1,887,534,070	純資産の部	
土地	268,783,681	基本金	154,460,500
建物	1,615,750,389	国庫補助金等特別積立金	492,950,488
建物	2,027,135,802	その他の積立金	0
基本財産建物減価償却累計額	△411,385,413	次期繰越活動増減差額	200,392,687
基本財産特定預金	3,000,000	(うち当期活動増減差額)	8,796,369
その他の固定資産	163,032,469		
構築物	16,086,051		
構築物	21,517,900		
構築物減価償却累計額	△5,431,849		
機械及び装置	86,443,214		
機械及び装置	97,708,327		
機械及び装置減価償却累計額	△11,265,113		
車輛運搬具	2		
車輛運搬具	5,787,538		
車輛運搬具減価償却累計額	△5,787,536		
器具及び備品	36,518,202		
器具及び備品	61,979,984		
器具及び備品減価償却累計額	△25,461,782		
建設仮勘定	0		
ソフトウェア	356,400		
ソフトウェア減価償却累計額	△356,400		
投資有価証券	500,000		
出資金	100,000		
長期貸付金	17,400,000		
差入保証金	5,985,000		
		純資産の部合計	847,803,675
資産の部		負債の部	
	当年度末		当年度末
資産の部合計	2,241,399,326	負債及び純資産の部合計	2,241,399,326

7 主要な経営指標

営業利益率や最終利益率が低いため、収益性に課題が残りました。流動比率や固定長期適合比率は一定の安定性を示すものの、現預金比率が低く、資金繰りの改善が急務です。既存の高齢福祉事業の稼働率は好調であるため、六郷キャンパスにおける共生型看護多機能センターの稼働率の向上が財務健全化の必須条件でしょう。また、同キャンパスの保育園も開設時(2024年度)は稼働率63%でしたが、2025年度5月現在は定員が埋まっています。障害福祉事業も年々収支は向上していますが、黒字化に向けて稼働率向上・収益改善が必要です。

経営指標	参考指標*1	法人全体(前年度比)
人件費率	66.9%	64.2% (4.4%減)
	事業収益に対する人件費の割合。事業に対して人件費がどの程度の負担をかけているかの指標。	
経費率	25.5%	32.2% (1.1%増)
	事業費率と事務比率の合計。	
事業費率	15%	17.8% (2.5%減)
	事業収益に対する事業費の割合。事業に対して事業費がどの程度の負担をかけているかの指標。低いほどよい。	
事務費率	10.5%	14.4% (2.8%減)
	事業収益に対する管理費の割合。事業に対して事務費がどの程度の負担をかけているかの指標。低いほどよい。	
減価償却費比率	6.8%	7.9% (1.0%増)
	事業収益に対する減価償却費の割合。低いほど収益性が高い。	
支払利息率	0.28%	1.3% (0.2%増)
	サービス活動収益に対する支払利息の割合。低いほど収益に対して借入金の利息が少ないことを意味する。	
現預金対事業活動支出比率	4.1 か月	1.06 か月 (0.4 か月減)
	事業活動支出(月平均額)に対する現金預金保有額の割合。3か月以上は非常に安定している。2か月程度は安定。1か月程度は最低限の安全圏。	
流動比率	318%	192% (0.1%増)
	流動資産を流動負債で割った数値。会社の短期的な安全性を判断するための指標。高いほどよい。200%以上は非常に良好。150~200%は安定的。	
固定長期適合比率	82.8%	95.7% (1.9%増)
	自己資本と固定負債の合計額に対して、固定資産の割合を示す数値。100%未満だと健全だとされる。	
借入金比率	16.4%	165.4% (12.7%増)
	借入規模が健全であるかをある程度見分けることができる指標。低いほど健全。合計借入金÷純資産の部。合計100%未満が健全(自己資本>借入金)。100~200%は要注意(借入依存がやや高い)。200%超は高リスク(財務安定性に懸念)。	
債務償還年数	5.0年	40.8年
	有利子負債をキャッシュフローで何年で完済できるかという指標。低いほどよい。10年未満は健全(望ましい)。10~15年はやや注意。15年以上は要改善。	
サービス活動増減差額比率(営業利益率)	1.55%	△2.8% (10.1%増)
	本業であるサービス活動収益そのものから得られた増減差額を示す指標。高いほど収益性が高い事業。	
経常増減差額比率(経常利益率)	2%	△2.9% (14.9%増)
	法人の経常的な活動による収益性を理解する上での基本的な指標。マイナスである場合、赤字であることを意味する。	
当期活動増減差額比率(最終利益率)	—	0.01% (9.1%増)
	法人に残った最終的な利益の比率。	

*1「2021年度社会福祉法人の現況報告書等の集約結果」(独立行政法人福祉医療機構)を参照。

中期経営方針

中期経営方針(2024~26年度)

ひらかれた依存関係をつくる

ひらかれた依存関係を育み、お互いに助けあう社会をつくる

2025年、ついに団塊世代の約800万人が75歳以上の後期高齢者になりました。そして、約1,165万人いる障害者のうち半数近くが65歳以上になり、今後「高齢者」「障害者」という明確な線引きでは対応できなくなることが予想されています*1。つまり、自己責任論が蔓延し、貧困や格差、孤立、自殺者の増加など福祉が必要とされる範囲が広がっている現在、これからは専門性を高めるだけでなく、多様な課題に対応できる人や支援体制が必要となってきています。

すべての人にとっての依存先の選択肢となり、お互いに助けあう社会をつくる。そのために、基本となる福祉事業を軸に、不動産事業と農林事業に着手し、経営基盤を強化したいと考えています。不動産事業と農林事業と連携することで、福祉事業を行うなかで生じた居住支援と農産物の生産・加工・販売をより充実させ、より柔軟に一人ひとりの困難や地域の課題に対応していくことを目指します。そして、事業を多角化するからこそ、本分を忘れず、日々のケア(介護・看護・保育)の技術を高めていきたいと思っています。

*1「令和4年生活のしづらさに関する調査」(厚生労働省)参照。

事業方針

- 既存の業種区分やサービスの種類を越えて、地域のニーズにあわせた支援体制を構築する

 - 既存の業種区分にとらわれないサービス内容の標準化
 - 共生型看護多機能センターの機能強化をはじめとする、医療的ケアの充実
 - 新たなサービスや先駆的なケアを充実させるための間接業務の合理化
 - 支援につながりにくい低所得者や社会的養護者に対する支援の強化
 - 災害時に専門的な支援を提供する指定福祉避難所としての機能整備

- 法人内外の研修や交流を増やし、多職種間の情報共有・相互理解・連携を強化する

 - 働き手の確保や定着に向けた、チームごとの内部の連携強化
 - スタッフ育成のための法人内外の研修体制の整備
 - 多様な人が働きやすくなるための、福利厚生や手当など制度の見直し

- 安定した経営と、持続可能な経営基盤を確立する

 - 各事業の経営目標、数字を明確にした経営管理(法人全体で収支差率7%を目指す)
 - 新規事業計画に向けた障害者相談支援事業の居宅介護支援スタッフの増員
 - 農福連携事業との連携強化として、農山漁村振興交付金を活用した事業の実施
 - 居住支援に伴う空き家対策等の実施

1 生活支援と相談援助サービスの充実

① ケアの質向上

- ・介護の生理学と組織マネジメントの勉強会を受講し、全スタッフが職種にとらわれないケアの本質を理解する。
- ・アセスメントとケアプランの立案の意義や方法について学ぶ機会をつくる。
- ・全スタッフがキャリアに応じて、仙台市の主催する認知症介護実践者研修・認知症介護実践リーダー研修・認知症介護指導者養成研修の受講を受ける。
- ・ウェルカム！ カフェで認知症当事者によるカフェ運営を行うなど、認知症の理解促進を行う。

② ソーシャルワークの質向上

- ・「断らない相談支援」を目指し、ワンストップでかかわる相談体制を構築し、制度やサービスの種類にとらわれず、相談者が抱えるさまざまな困難に対処できる技術を高める。
- ・法人全体でのケース検討会を開催し、困難な事例に関する知見を共有する。
- ・地域における課題を拾い上げ事業にいかすために、社会福祉士は全員東北福祉大学大学院2025年公開講座に参加し、地域における公益的な取り組みを学ぶ。

2 スタッフ育成と労働環境の整備

① 働き手の確保と定着に向けた環境整備

- ・仕事の技術的な支援をするチューター制度と、生活や精神面の支援を行うメンター制度の導入を検討し、新卒スタッフの不安解消に努める。
- ・法人内研修の見直しと充実を図り、2～3年目研修やマネジメント能力を高めるための階層別研修（ユニットリーダー・主任・チーム長・課長・部長）の設計・実施をする。
- ・日本語能力試験N2・N1の認定を目指して、外国籍スタッフ向けの研修を強化する。法人理念やケアの技術を伝えていくために人事部に専門スタッフを配置し、高度外国人材の採用も検討する。
- ・全国からスタッフを採用できる体制と、地域採用を強化する体制の両輪を構築する。
- ・法人内の処遇格差を是正し、給与改善を行い、福利厚生を充実させる。

② スタッフのモチベーションアップのための環境整備

- ・働き方区分の簡素化を図り、業務に制限のあるスタッフとの待遇差を改善し、わかりやすい制度設計を行う。
- ・一人ひとりが納得感のある、キャリアパスに基づく、人事評価・昇進基準・賃金制度の見直しを行う。
- ・表彰制度などの取り組みを検討する。

③ 医療的ケアとターミナルケアの質向上

- ・介護スタッフによる痰吸引実施体制の整備、痰吸引や経管栄養に関する研修を行う。
- ・終末期における看取りケアを充実させるため、ガイドラインに沿った看取りの指針やマニュアルを検討し、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）を推進する。
- ・ゆとりの医科歯科クリニックと積極的な連携を図る。

④ サービス内容の標準化

- ・職種ごとのマニュアルの見直しとケースマニュアルを整備し、クラウドサービスへの完全移行を実施する。
- ・ウェブサイトのリニューアルを行い、実態にあわせた情報の整理・発信を行う。

3 地域社会との連携

① 地域の困りごとを解決する依存先の選択肢を増やす場づくり

- ・地域福祉の拠点としての居場所的役割を拡充し、新たに公益的な取り組みを開発する。
- ・指定福祉避難所として、事業継続計画（BCP）と連動した持続可能な防災機能を整備する。

4 経営基盤の安定に向けた取り組みの推進

① 各事業の経営目標や数字を明確にした経営管理

- ・全スタッフと財務等の経営情報を共有し、経営の改善方法を各自の持ち場から考えられる機会をつくる。
- ・寄付制度を充実させることで、税額控除対象法人の証明を受けることを目指す。

② 幸町キャンパスにおける共生型多機能センターの開設準備

- ・行政への指定申請手続きやスタッフ募集、研修などの開設準備を進める。
- ・開設半年での黒字化を目指す。

③ 新規事業の推進

- ・居住支援と空き家を活用した障害者グループホームの開設を検討する。
- ・農山漁村振興交付金を活用した事業を実施する。
- ・空き家を活用して、外国籍スタッフのためのシェアハウスの設置を行う。
- ・用途を限定しない一時避難所として、無料低額宿泊所の設置を検討する。

スタッフインタビュー

Interview 1

すべてのパートナーが自分の祖父母だと仮定してみる

上野 稚那都（萩の風キャンパス生活相談員）



入社して4年目、生活相談員として働く上野 稚那都。仕事内容や、インドの採用面接について語ります。

うえの・ちなつ | 青森県出身。大学で社会福祉、精神保健福祉を学び、卒業後は地元青森を離れ、2021年に当法人へ介護スタッフとして入社したのち、2022年から生活相談員となり、パートナー本人やその家族、施設内スタッフ、地域のケアマネージャーや病院、行政などとの調整・連携などを担当している。

パートナーの人生を考えながら、施設の窓口となる

上野さんは生活相談員として萩の風キャンパス（以下、萩の風）で働いていますが、どのような仕事をしているのですか？

一言で表すと「施設の窓口」だと思っています。大きく分けて施設の外側と内側の仕事があります。外側の仕事は、入居相談に来られた方に施設や条件を説明したり、状況に応じてケアマネージャーや病院、ほかの施設とのやりとりを行ったりします。内側の仕事としては、例えばパートナーの希望をかなえるために外出の計画を立ててご家族に相談したり、お看取りの際に本人や家族の希望を聞き、スタッフと調整を行ったりすることなどがあります。

生活相談員を目指したきっかけはありますか？

福祉の仕事に就きたいと思ったのは高校2年生のとき。近所に住んでいた祖母が認知症になり、介護をする母の姿を間近で見たことがきっかけでした。担当のケアマネージャーさんが祖母だけでなく母の気持ちも大事にしてくれたことから、困っている人に寄り添える仕事がしたいと思

施設内外の調整が同時に必要になる場面もあります。パートナーの体調に変化があって病院を受診したいとなったときは、まず看護師に伝えて嘱託医に相談してもらいます。嘱託医が専門医のいる病院で受診したほうが良いと判断した場合は、わたしが病院に連絡して受診日の予約を取り、それまでの経過をケアスタッフに確認したり、看護師を通じて嘱託医から紹介状をもらったりします。受診日や内容について家族に連絡するのもわたしの役割です。

うようくなりました。

その後、福祉を学べる大学に行き、生活相談員という職種を知ったのは実習先でした。施設でケアを必要とする本人やその家族と身近なところがかかわりながら、地域の人たちと連携していく仕事に魅力を感じました。ただ、新卒

で生活相談員を募集する事業所はほとんどないので、最初は介護スタッフとして就職活動をし、ライフの学校に入

職。2年目で生活相談員になりました。いま、萩の風には、わたしも含めて2人の生活相談員がいます。

いまの仕事につながる、原点となるような出来事はあったのでしょうか？

わたしは、隣の家の子にも自分の子のように接したり、知らないおじさんやおばさんにも「おかえり」と声をかけられたりするような地域で育ちました。小学生のころは同じマンションの子どもたちとよく遊んでいて、その母親たちとはいまでも直接連絡を取り合う仲。というのも、自分の

こどもと同じようにわたしにもいろんなことを教えてくれた、育ての親のような関係性なのです。いま生活相談員として、さまざまな世代の人たちと躊躇なくコミュニケーションがとれるのも、そういった環境のおかげかもしれません。

採用面接を通した、インドでの経験

今年度、インドの採用面接にも同行されたそうですね。

具体的な面接の流れや、そのなかで印象的だったことを教えてください。

実は海外に行くこと自体が初めてで、さらに言語の違う人と面接する緊張もありましたが、貴重な経験となりました。2日間で約40人と面接を行い、3~4人ずつのグループ面接で、理事長の田中とわたしを含めた3人が面接官を務めました。「なぜ日本に來たいか?」「悲しいことがあったときにどのようなことをしてリフレッシュしているか?」など、こちらからいくつか質問をして順番に答えてもらいました。そのなかで印象的だったのは「日本は安全な国だから働きたい」「働いたお金は親に仕送りしたい」と答える人が多かったことです。応募者の多くは20歳前後で、その年齢

のころの自分と比べても、切実さがまったく違うなど。悲しかったこととして親や祖父母を亡くした経験を語る人が多く、その悲しみを乗り越える方法としてお祈りを挙げるなど、日本と異なる環境や文化も感じました。

こうした面接の経験を経て、いまここで働いている外国籍スタッフたちの背景や思いも、より実感をもって想像できるようになりました。インドから採用されたスタッフはもちろん、ほかの外国籍スタッフとも、もっとコミュニケーションを深めていきたいと思っています。

これからのライフの学校に期待することはありますか？

わたしが担当する萩の風では、職種や自分の担当領域を越えて協力できるようになるといいなと思っています。看護師、作業療法士、生活相談員、介護スタッフが、一人のパートナーのケアに対して、よりスムーズにかかわることができるといい

な、と。どうすればそれが実現できるのかこれから考えていきたいと思っていますが、まずは「すべてのパートナーが自分の祖父母だと仮定してみる」のはどうだろうか。そうした意識をちょっと変えるところからはじめられるかもしれません。

Interview 2

何かを持って帰ってもらえる場所を目指して

岡本雄輔（六郷キャンパス施設長）

ライフの学校初の複合型施設、六郷キャンパス(以下、六郷)が2024年4月に開設してからの一年を、施設長の岡本雄輔が振り返ります。



おかもと・ゆうすけ → p.04

高齢・障害・保育を同時にスタートさせた一年

怒涛の一年だったと思いますが、振り返っていかがでしたか？

人生で初めてのことがばかりが起こった一年でした。わたしは学生時代からずっと高齢者介護に携わってきましたが、障害福祉や保育の経験はありません。仙台市内でも、高齢・障害・保育を一つの施設で行っているところは数少ないのです。それらをいっぺんにスタートさせたため、開設の準備期間を含めて、ここ2~3年は立ち止まって振り返る間もなく過ぎていきました。

特に看護小規模多機能センター(以下、看多機)は、軌道に乗せるのに苦労しました。以前の職場でも看多機に似た、小規模多機能型居宅介護(以下、小多機)を担当した経験はあったのですが、小多機は2006年、看多機は2012年から始まった新しいサービスで、利用する人にまだ十分に知られていない。届けたい人にサービスが届いていないもどかしさもありました。

看多機はどのような人にとって最適なサービスなのでしょうか？

看多機では、デイサービス・ショートステイ・ヘルパー(訪問介護)の機能を包括しています。自宅で過ごしながらか複合的にサービスを利用したい人に向いていますが、それぞれを個別に契約せず、定額で利用できることが利点です。介護保険上、日中にデイサービスを利用し、同じ日の夜に別のショートステイを使うことはできませんが、看多機ではそれができる。それぞれの利用時間なども、状況の変化に合わせて柔軟に調整できるのも大きいですね。

ただ、既に在宅介護を利用している人は、担当するケア

マネージャー(以下、ケアマネ)がいて、ショートステイはあの事業所、ヘルパーはこの事業所、と既にプログラムが組まれていることが多い。看多機は料金体系も異なり、ケアマネの担当も変わるので、移行するメリットも感じにくいのです。そのためこの一年は、どこにニーズがあるのかも含めて、周知にも力を入れました。例えば病院。もともと介護認定を受けていなかった人が退院と同時に介護が必要になることがあり、そうした場面ではケアマネの役割も担う看多機へのニーズが高まります。

まずは地域の課題やニーズを知るところから

内部の整備や周知に力を入れた一年だったのですね。複合施設には、どのような利点を感じますか？

大人の10年に比べると、こどもの10年は変化が大きいです。保育園に通うこどもたちの著しい成長は目を見張るものがあります。入所している高齢のパートナーやスタッフたちにとって、こどもたちの存在は大きいです。特に若いスタッフは、認知症のパートナーとのコミュニケーションに悩むことが多いのですが、そんなときにこどもが笑顔で走ってきたりすると心がスッと軽くなるようで、精神衛生的にも助けられていると感じています。

特養と保育園の交流はプログラム化していませんが、雨が

降ってこどもたちが外出できない日は「おじいちゃん、おばあちゃんのところに行ってみよう」と施設内をお散歩したり、その逆もあつたりします。季節の行事も特養・看多機・保育が合同で行っています。先日、あるパートナーのお看取りをした際には、霊きゆう車をお見送りするときに、こどもたちのご家族に了承を得て、保育園のスタッフがこどもたちを連れてきてくれました。いつも遊んでくれたおじいちゃんをお見送りするという経験は、こどもたちにとっても大きな学びになったのではないかなと思っています。

これからどんな施設にしていきたいですか？

一年かけて、ようやく施設の内側から外側に目を向けられるようになってきたところ。この地域にとって、ここに相談にきたら何かを持って帰ってもらえる場所にしていきたい。そのためには課題やニーズをもっと知ること、関係性をつくっていくことだと思っています。近隣の小中学校の購買部が閉鎖したため、2025年6月からは学用品の販売や駄菓子屋、自営給食の提供をはじめます。また、学校運営協議会への参加や児童館にもあいさつに行ったことで、六郷地区の福祉事業者を集めた意見懇談会にも参加し、地域課題を直接聞くことができました。

実は、わたし自身も六郷地区に住んでいるんですよ。町内会や青年会に入っていたり、自分のこどもも近隣の学校に通っていたりします。なので、「あの民生委員さんと打ち合わせしたほうがいいな」「あの場所で何かするならあの人に声をかけよう」と、キーパーソンとなる人がぱっと思い浮かぶのは強みかもしれません。

ライフの学校には萩の風キャンパス（以下、萩の風）という先輩がいます。萩の風では、かつて駄菓子屋に遊びに

来ていた小学生が、ライフの図書館で受験勉強をするようになり、いまでは介護実習で施設に来る、といったことが起きている。六郷でも、ようやくその一歩を踏み出せたかなと思っています。いつか「あのときの取り組みがかたちになったんだな」と振り返れる日が来たら、ようやく達成感を得られるのかなと。それまで地道に取り組んでいきたいと思っています。



2024年夏、近隣に住む人たちがパートナーと一緒に屋上で見た「なとり夏まつり」の打ち上げ花火。東日本大震災では開催地が壊滅的な被害を受けたが、2022年に会場を戻して開催している。六郷地区の人たちが毎年楽しみにしている行事のため、六郷キャンパスの建物が妨げにならないよう周辺と変わらない高さにした。

Interview 3

ケアの技術が

人間性ととともに育まれる土壌を耕す

田中伸弥（理事長）

新キャンパスオープンに『統合報告書』の発行など、新しい取り組みが続いたこの一年を振り返ります。



たなか・のぶや → p.04

「がんばろう」と言いあえる関係

2024年度は、ライフの学校にとってどんな一年でしたか？

今年も大変な一年でしたね。2022年のロシアによるウクライナ侵攻以降、物価が高騰し、その影響を大きく受けています。さらに、イスラエルによるガザの虐殺についても、ニュースを通じて日常的に見聞きし、心が揺さぶられるので、これまで遠い海の向こうの出来事だと思っていたことを身近に感じています。

2024年4月にオープンした六郷キャンパス（以下、六郷）は、当初木造建築にしたかったのですが、資材価格の高騰によって、急速鉄骨造に変えざるを得ませんでした。この調整に時間がかかり、2023年10月のオープン予定が半年遅れることに。その結果、収益がないまま新しいスタッフを雇用する期間が長引き、厳しいスタートとなりました。

六郷をオープンしてみて、どんな状況ですか？

2020年から福祉施設を地域にひらいてきた経験をもとに法人初の複合型施設の開設に挑んだわけですが、萩の風キャンパス（以下、萩の風）で庭をひらいたり、図書館や駄菓子屋を運営したりといったことは、見えないところで施設内外の調整を地道にやってくれていたスタッフがいたからこそ成り立っていたのだと、あらためて感じましたね。それを新しい建物ではじめるというのは、当たり前ですが、すぐには軌道に乗らないと。ただ、新卒スタッフが「大変だけど、楽しい」と言ってくれているのが、うれしいですね。こうした新卒スタッフと、これまでも支えてくれた中堅スタッフの橋渡しが課題だなと思っています。

中堅スタッフは、萩の風以外では、高齢福祉・障害福祉とそれぞれの分野で専門的に取り組んできた人たちで、ケアに関する経験値が高い。ただ、複合型施設では、高齢者も障害者も、幼児もいて、さまざまな人がともに

過ごすため、毎日イレギュラーなことが起きるんですね。例えば、認知症の人と向き合っているなかで、障害のある人が急に大きな声を出したときにどう対応するのかわかりません。それを「新鮮」だと受け取るか、「怖い」と思うかという違いは大きい。

あるとき、元気で歩き回る認知症のおじいちゃんが、いつの間にか外に出てしまうということがありました。介護チームは安全性を優先して、ドアに鍵をかけて対応しましたが、その判断は理解できるものの、わたしや施設長はできればそうしなかつたんですね。ただ、現場で手が足りない状況では、どうしてもリスクを取ることは難しい。そうしたなかで、しばらくは鍵を開けたり閉めたりの試行錯誤が続きました。そんなある日、リハビリスタッフが、外に出ようとするその人の手を取って、そのままふらっと一緒に外に出て、1時間後くらいに戻ってきたんです。一人で外に出て行ったら「徘徊^{はいかい}」と呼ばれてしまうけれど、スタッフが付き添えば「お散歩」になる。その自然なふるまいを見て、現場で介護を担当するスタッフたちは影響を受けました。自分ができなければ、リハビリや保育のスタッフに頼んだっていいんだ、という視点が生まれた。これは一言で言えば「多職種間の連携」なのですが、実際にはお互いに相手へのリスペクトがあるがゆえに、遠慮してしまったりしてなかなか簡単にはいきません。事例を共有したり、マニュアルを整備したりしても、実際に体験しないと自分のものになっていかないですね。

だからこそ、たとえ新卒スタッフがライフの学校の理念に共感していたとしても、チャレンジできる環境がなければ、いつまで経っても経験が積めない。そういった意味で、六郷はスタッフにとって「実験場」のような役割を果たしているように思います。大変なことも多いですが、それでも少しずつ芽が育っていることを実感できるのが、いまのわたしの楽しみですね。これまで培ってきたことをしっかり伝えて、実践し、ともに歩む。わたしが一方的に「がんばって」じゃなくて、「がんばろう」と言いあえる関係でありたい。経営的な数字はもちろん重要ですが、2024年度は、ケアの技術が人間性とともにも育まれる土壌を耕した一年だったなと思っています。



六郷キャンパスの様子。

かつての助けあいを社会福祉法人が担う

そうした多職種間の垣根を越えることが、「ひらかれた依存関係をつくる」というビジョンにつながるということですね。このビジョンを掲げることになった経緯について教えてください。

全国社会福祉法人経営者協議会には青年会があり、そのなかに「福祉ラボ」という委員会があります。そこでは、

定期的に福祉について考える輪読をやっているのですが、佐藤仁さんの著書『争わない社会「開かれた依存関係」をつくる』（NHK出版、2023年）を読んで、感銘を受けたことがきっかけでした。

この本では、現代社会の争いの原因が自立志向にあると指摘しています。すべてを自分一人でやり遂げようとする姿勢が争いを生み、競争や格差を生み出している。そこで佐藤さんは「依存」の価値を見直し、依存先となり得る「中間集団」を重視した新しい社会のあり方を提案しています。

この中間集団というのは、国家と個人の間にある集団、家族や地域、NGOやNPOのことを指します。この本を読んで、社会福祉法人こそが中間集団の一翼^{いちよく}を担えるのではないかと考えるようになりました。というのも、社会福祉法人は公益を目的とする事業を行うため、非課税である代わりに、利益を地域に還元する責任があるからです。

かつては、隣の家のこどもに障害があったら「ごはん食べさせておいたよ」とか、認知症のご近所さんと道で会ったら「おじいちゃんとそこで会ったから一緒に帰ってきたよ」といった「お互いさま」の関係がありました。でもいまは、核家族や単身世帯が増え、地域でのつながりは希薄になり、町内会やPTAも以前のように活発ではありません。いろいろなものを個人に背負わず、かつての助けあいを社会福祉法人が担うことができたらと考えています。

この社会に依存先としての選択肢を増やす

2025年度は、どのようにしていきたいと考えていますか？

2025年度の目標は、「黒字化」です。これまで積み重ねてきたものは確かにありますが、人口動態が変化する以上、事業のフェーズも変わっていく。いまはまだそれがどのようにかは言語化できませんが、少し先の未来を想像してやっていくために、介護報酬と障害福祉サービス等報酬の改定時期にあわせて、3年ごとに短期・中期・長期の経営方針と事業計画を立てています。

黒字化は、法人が生き残るための手段ですが、それはやっぱりこの社会に依存先としての選択肢を増やしたいからなんです。大手は生き残りやすいですが、それだけだと選択肢が限られてしまい、取りこぼされていく人たちが出てしまう。いろいろな人がいる社会には、いろいろな選択肢があった方がいいでしょう。だからこそ、ライフの学校のような存在が、選択肢の一つとしてあり続けたい。そして、地域のみなさんに選ばれる存在でいたいと思っています。

ご寄付のお願い

ライフの学校では、既存の福祉制度の枠組みを越えて、地域で必要とされる多様なニーズに対応していきたいと考えています。現在取り組んでいる事業を継続し、新たな福祉サービスを開発し続けるために、ご支援をよろしくお願いいたします。

1 サポーターになる

わたしたちの日々の現場を支えるサポーター制度です。ライフの学校と地域をつなぐ季刊紙『ライフの学校新聞』（年4回）と『統合報告書』（年1回）をお届けします。

年間
3,000円

2 プロジェクトを支援する

子ども食堂

毎月開催している子ども食堂では、5,000円で約20名分の食事を用意することができます。現在子どもは1食50円ですが、今後は無料にしたいと考えています。

ライフの図書館

ライフの図書館は利用者登録をすれば誰でも使うことができます。現在、登録者は118名（うち中学生53名、高校生11名）で、放課後の自習の場や無料学習支援教室にもなっています。1万円で高校・大学受験用の参考書を5～10冊購入することができます。

居住支援

家を借りるサポートが必要な住宅確保要配慮者のために、冷蔵庫やガスコンロなどの家電を購入することができます。必要なものはそれぞれ異なりますが、新品あるいは中古品で必要最低限の家電を買いそろえるには、1人あたり5～10万円が必要です。

1口
5,000円



1口
1万円



1口
5万円



3 使い道を指定せずに支援する

ご寄付の金額と使用用途を指定せずに支援することができます。こちらは、法人経営において必要な資金として使わせていただきます。

1口
自由

ご寄付総額 **587,160円** (2024年4月～2025年3月)

みなさんからのご寄付におおいに支えられています。どうもありがとうございました！

丹野昭徳、小島幸治(みつやサービス)、杉山諒子、遠藤美恵子、澤田勝彦(順不同・敬省略)。

ご寄付の方法

個人・法人の方

個人の寄付金が2,000円を超える場合は、確定申告で寄付金控除を受けることができます。確定申告の際には、当法人が発行する寄付金の「領収書」と「税額控除に係る証明書」が必要となります。必要な方は、下記のお問い合わせフォームよりご連絡ください。受付後、1か月以内にお届けいたします。法人の場合は、税理士にご確認ください。

クレジットカードで

下記の専用ウェブサイトから簡単に手続きが可能です（所要時間約5分）。

決済システム「Congrant」

<https://congrant.com/project/lifenogakkou/14929>



銀行で

下記の口座にて、ご寄付をお受けしています。

仙台銀行 沖野支店 普通 228119

フク) ライフノガッコウ

社会福祉法人ライフの学校 理事長 田中伸弥

郵便局で

下記の口座にて、ご寄付をお受けしています。

ゆうちょ銀行 フク) ライフノガッコウ

記号：18110 番号：09728491

遺産・不動産で

土地や建物、物品などによるご支援をしてくださる場合は、サポートセンターにご連絡ください。当法人の関連会社である、合同会社Live 研究所の不動産事業部にて、不動産の仲介や不動産・物品の売買のお手伝いすることも可能です。

ご寄付をいただいた方へのお礼の品

1万円以上ご寄付いただいた方には、ウェルカム! カフェの「ドリンクセット」をお贈りさせていただきます。オリジナルブレンドのコーヒー豆と煎茶、ほうじ和紅茶が入っています。就労支援センターのパートナーがつくったオリジナルラベルが貼られており、かれらが梱包や郵送も行っています。



お問い合わせ先

サポートセンター(法人本部)
担当：岡本 電話：022-289-8555

お問い合わせフォーム：
<https://gakkou.life/contact>



お知らせ

SNS

LINEでは、毎月15日ごろに今月のお知らせやレポートをお送りしています！
また、各種SNSにて、現場のスタッフがライフの学校の日常を発信しています。



ライフの学校				ウェルカム! カフェ		
LINE	Instagram	Facebook	X	Instagram	Facebook	X

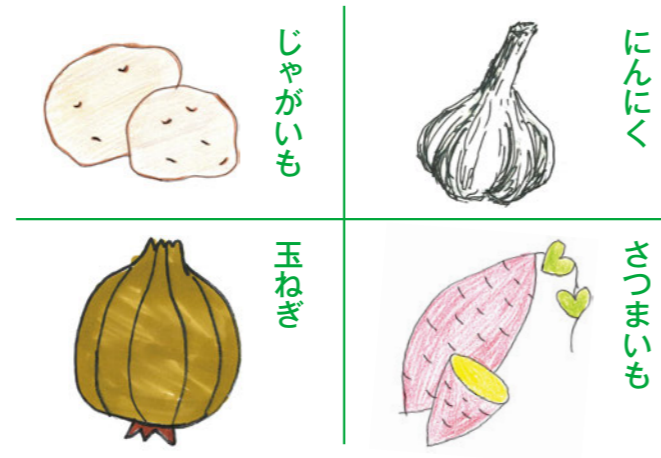
季刊紙『ライフの学校新聞』

わたしたちと地域をつなぐ「まちの新聞」を発行しています(年4回)。
各キャンパスのほかにも、町内会や近隣の小中学校でも配布。
ウェブサイトでは、PDFを公開中です。



みんなの畑

「みんなの畑」でパートナーが育て、収穫した野菜は、
萩の風キャンパスにて不定期で販売しています。
下記は、2024年度にみんなの畑でとれた野菜です。



ライフの学校 統合報告書 2025

発行：2025年7月30日

企画 ライフの学校 運営企画室
編集・執筆 川村庸子、佐藤恵美
デザイン 阿部航太
写真 阪本 勇
イラストレーション 安川 皓・浅野 望・葛西敏子・佐藤里佳・小玉かおり・阿部貴志・遠藤洋子(ライフの学校)
校正 株式会社聚珍社
印刷 株式会社ライブアートブックス

社会福祉法人ライフの学校
〒984-0838 宮城県仙台市若林区上飯田字天神1-1
サポートセンター(法人本部)
電話：022-289-8555 <https://gakkou.life>
© 2025 社会福祉法人ライフの学校

※営利・非営利問わず、本書のコンテンツを許可なく複製・転用・販売などの二次利用することを禁じます。

